

台湾研修の事前指導（那珂市職員による講義）

那珂高校では、6年ぶりの海外研修として、12月2日（火）～5日（金）の3泊4日で、台湾を訪問します。参加生徒は13名で、台北市の現地高校での交流、現地大学生と台北市内観光などを行う予定です。

今回の事前指導では、令和6年5月に、那珂市と台南市が友好交流協定を締結したことを踏まえて、那珂市役所の台湾交流の窓口を担当されている那珂市職員の山田様に講義をお願いしました。

10月21日（火）放課後の講義では、「那珂市と台南市の交流・協定のきっかけ」「故杉浦茂峰氏が飛虎將軍として祀られていること」「台湾の気候、食、交通事業」などについて説明していただきました。

また、山田様が台湾を訪問された経験からアドバイスをしていただき、質疑応答もありました。

最後に、山田様から「12月の台湾研修を楽しんでください」と激励の言葉が送られました。

10月上旬から事前指導をスタートして、ホテルの部屋決め、現地の観光地の調査など、台湾研修に向けて準備しています。

【山田様の経験からのアドバイス】

- ・時差は1時間で、日本が9時の時、台湾は8時である。
- ・台湾料理のほとんどに、八角（香辛料）が使われていて、においが苦手な日本人もいる。
- ・個人的に小籠包がおいしかった。タピオカミルクティーも、タピオカがやわらかい食感で、とてもおいしかった。
- ・台湾では日本語が通じる場合が多い。台湾人は、とてもフレンドリーである。
- ・日本料理は高級料理として扱われている。台湾には日本の回転寿司店もある。
- ・レジ袋は有料。値段は日本と同じくらい。日本と台湾は、物価がほぼ同じ。
- ・歯ブラシなどのアメニティーがないホテルが多く、事前に確認して、必要なものを持っていった方がよい。
- ・スマホは、かけた人、かかってきた人の両方に通話料がかかる上、高額である。ライン電話などの方がよい。

【参考】

[台南市（台湾）と友好交流協定を締結 | 那珂市公式ホームページ](#)

